

## 略 歴



▲附属小学校時代の友人たちと（前列左端）

- 1960年 9月、東京で生まれる
- 1973年 弘前大学教育学部附属小学校を卒業
- 1976年 弘前大学教育学部附属中学校を卒業
- 1979年 青森県立弘前高等学校を卒業
- 1984年 東京大学工学部航空学科（現・航空宇宙工学科の前身）を卒業  
本田技研工業株式会社に入社
- 1986年 航空機の研究開発に従事
- 2006年 ホンダエアクラフトカンパニー社長兼 CEO に就任
- 2022年 ホンダエアクラフトカンパニー顧問に就任
- 2025年 6月6日、弘前市名誉市民に

## 主な受賞歴

の4賞を同一人物が受賞しているのは、世界で藤野さんが唯一

### 2012年 AIAA エアクラフト・デザイン・アワード（日本人初受賞）

世界最大の航空宇宙関連の技術団体「アメリカ航空宇宙学会（AIAA）」が、独創的なコンセプトの提案や、航空機設計や設計技術の進歩に寄与した個人や団体に贈る、“航空機設計者にとって世界で最も栄誉ある賞”とされています。

### 2013年 SAE ケリー・ジョンソン賞（日本人初受賞）

アメリカの学術団体「SAE インターナショナル」が、数多くの航空機を開発し、航空宇宙産業に大きな影響を与えたクラレンス・ジョンソン（Clarence L. “Kelly” Johnson）氏の名前を冠して1992年に設立し、航空機や宇宙船における革新的な設計・開発に多大な貢献をした個人に贈る賞です。

### 2014年 ICAS 航空イノベーション賞

航空科学／工学分野の発展を促す国際的団体「ICAS」が、革新技術や斬新な設計・製造プロセスを通じて、航空科学／工学分野に世界的に大きな影響を与え、貢献した個人や団体に贈る賞です。

### 2015年 技術経営・イノベーション賞－経済産業大臣賞

### 2016年 日本産業技術大賞－内閣総理大臣賞

### 2024年 ダニエル・グッゲンハイム・メダル（日本人初受賞）

AIAA が航空宇宙産業で功績を残した個人に贈る賞で、“航空業界で最も名誉のある賞”の一つとされており、過去にはライト兄弟の弟やアメリカの飛行士チャールズ・リンドバーグ、航空機大手のボーイングの創業者らが受賞しています。



▲AIAA エアクラフト・デザイン・アワード授賞式



▲ICAS 航空イノベーション賞授賞式



▲日本産業技術大賞贈賞式



▲ダニエル・グッゲンハイム・メダル授賞式

自分が褒められることよりも、  
自分が作ったものが褒められることがとても嬉しかった。

小学生の時から設計することが好きだったという藤野さん。「学校の図工の時間に行われていた車や飛行機などの飛距離を競う大会では特に気合が入りました。一等賞をとると、周りが『わーっ!』と湧くのが嬉しかった。」自分が褒められることよりも、自分が作ったものが褒められることがとても嬉しかったそうです。小学校の卒業文集ですでに「設計技師」になる夢を語っていました。



▲スキー大会にて

中学・高校では卓球に打ち込みます。部活動と卓球スクールでの練習により、自宅に帰るのは午後11時だったとか。当時の弘前市の卓球を取り巻くレベルは高く、藤野さんが通うスクールには全日本で1、2位を争う人もいたそうです。上位レベルでないとコーチに教えてもらうことすらできず、藤野さんはひたむきに努力を重ね、自身のレベルを上げることから始めました。教えてもらうことをただ待つだけではなく、自身で努力することの大切さを学んだそうです。



▲卓球スクールの生徒たちと（前から3列目右端）



▲弘前高校ねぶた（最前列左端）



▲弘前高校卓球部時代（前列左から5人目）

## 顕彰式典・記念講演のご案内

藤野さんをアメリカから招待し、名誉市民章を贈る式典と記念講演を開催します。

時 10月13日(月)祝、午後1時～3時

所 アートホテル弘前シティ（大町1丁目）

対 市民、市内に通勤・通学している人＝200人程度

※応募多数の場合は抽選で決定

申 専用フォーム、秘書課窓口（市役所2階）、電話（☎40-7101）／9月26日（金）まで



画像提供：藤野道格さん、本田技研工業株式会社